

## 地域国際化推進アドバイザーの派遣

自治体及び地域国際化協会等が地域の多文化共生や国際協力を推進するために実施する研修会や講演会に地域国際化推進アドバイザーを派遣しています。令和7年度は134件の派遣を実施し、そのうちオンライン派遣は17件でした。

### 【派遣事例1】

- ・テーマ：多文化共生推進指針策定についての助言（令和7年7月）
- ・派遣アドバイザー：小山 紳一郎 氏（SIDラボ/代表）
- ・派遣先：埼玉県和光市（現地派遣）

#### ① 目的

多文化共生推進指針の策定のための助言を得る

#### ② 内容

- ・実施予定の施策をどのように計画に盛り込むべきであるか
- ・策定についての検討会の構成員と属性
- ・進捗管理について

#### ③ 成果

計画策定に向けての具体的なイメージとスケジュールについて確認することができた。

### 【派遣事例2】

- ・テーマ：女性の視点から災害時の外国人支援を考える勉強会（令和7年10月）
- ・派遣アドバイザー：杉田 理恵 氏（東村山市市民相談・交流課/多文化共生相談員）
- ・派遣先：川崎市（現地派遣）

#### ① 目的

- ・災害時に外国人女性が困ることとその対応を知る
- ・平時の防災訓練や災害時の避難所で情報を伝えるやさしい日本語の使い方の習得

#### ② 内容

- ・外国人女性が災害時に困ること、直面する課題とその対応について
- ・日頃から取り組んでおくことよいこと等

#### ③ 成果

- ・避難所での困りごとから、どのように対応するか考えるきっかけとなった。
- ・外国人女性の視点からの防災を学ぶ貴重な機会となった。

### 【派遣事例3】

- ・テーマ：やさしい日本語研修（職員向け）（令和7年12月）
- ・派遣アドバイザー：加藤 理絵 氏（公財）名古屋国際センター／事業課主査兼相談コーディネーター）
- ・派遣先：福井県敦賀市（現地派遣）

#### ① 目的

- ・市職員を対象とした、やさしい日本語研修の開催
- ・外国人に分かるように配慮した「やさしい日本語」の習得

#### ② 内容

- ・やさしい日本語の概要・基礎知識の習得
- ・やさしい日本語への言い換え・書き換えの演習 等

#### ③ 成果

英語よりもやさしい日本語の方が伝えることができることや相手のことを考えて伝えることの大切さがわかった等の感想があり、今後の職務に活用でき、また参加してみたいとの声が多くあった。

### 【派遣事例4】

- ・テーマ：多文化共生と公民館の役割を考える（令和8年2月）
- ・派遣アドバイザー：木下 理仁 氏（東海大学国際学部/非常勤講師）
- ・派遣先：群馬県太田市（現地派遣）

#### ① 目的

公民館の活性化や地域の課題、生涯学習事業等について検討する機会を設ける。多文化共生や外国籍住民との関わり方を学ぶ。

#### ② 内容

身近な部分で起こりうる多文化共生、やさしい日本語の使い方、文化のすれ違い等について、具体的な例を用いてグループワーク等の実施。公民館でできることは何かを考えるきっかけに繋げる構成で講演。

#### ③ 成果

「ことばと文化のバリアフリー化」というキーワードを提示され、一方通行ではなく、一緒に何かに取り組む（作る）ことの重要性について理解を深めることができた。今後の公民館事業を検討するうえで、多文化共生を考えるきっかけになった。